

科 目 名	人格心理学
単 位	2
教 員 名	長谷川 晃
授 業 概 要	パーソナリティの定義や分類・測定方法を概観し、また、実際にパーソナリティを測定する質問紙に回答することを通して、人格心理学における基本的な考え方を身につける。さらに、パーソナリティを対象とした研究の代表例を概観することを通して、パーソナリティの個人差がなぜ生まれるのか、どのようにしたら変容できるのかについても学習する。
授業の目的・到達目標	<p>授業の目的：</p> <p>人格心理学の中で採用されているパーソナリティの定義、分類方法、および測定方法について学んだ上で、パーソナリティの形成過程や変容方法などについて、重要な研究結果を概観しながら学習する。</p> <p>到達目標：</p> <p>パーソナリティの定義・分類・測定方法について理解した上で、パーソナリティの代表的な理論がどのような研究結果から導かれたのか説明できるようになる。</p>
授 業 計 画	<p>第 1 回 パーソナリティとは① まずは自分自身のパーソナリティを測定してみよう</p> <p>第 2 回 パーソナリティとは② そもそもパーソナリティとは何か</p> <p>第 3 回 類型論① 人間のパーソナリティのタイプ分け</p> <p>第 4 回 類型論② 血液型と性格は関係ない</p> <p>第 5 回 特性論① パーソナリティを測るものさし</p> <p>第 6 回 特性論② ものさしはいくつ必要なのか</p> <p>第 7 回 特性論③ 理論との整合性を重視した分類</p> <p>第 8 回 パーソナリティを規定する遺伝と環境① 双生児法の理論的背景と研究結果</p> <p>第 9 回 パーソナリティを規定する遺伝と環境② 行動遺伝学の発展</p> <p>第 10 回 パーソナリティを規定する遺伝と環境③ 赤ん坊にも個性がある</p> <p>第 11 回 感情の特性論① 特性論の観点から見た感情</p> <p>第 12 回 感情の特性論② 抑うつ・うつ病</p> <p>第 13 回 感情の特性論③ マインドフルネストレーニングの実際</p> <p>第 14 回 対人魅力 他者から見られたパーソナリティ</p> <p>第 15 回 まとめ</p> <p>定期試験</p>
予 習・復 習	予習：

	<p>次回の講義テーマについて確認しておく。</p> <p>復習：</p> <p>各授業では、それまでの授業内容が踏まえられていることを前提とする。授業で配布した資料を復習し、十分に理解した上で次の授業に臨むこと。欠席した回の授業内容については、各自で自主学習をしておくこと。</p>
成績評価の基準	<p>評価方法：</p> <p>期末試験 50%、授業への参加態度 50%の割合で評価する。授業態度は、毎回の授業内で記入するリアクションペーパー（感想や質問の記入用紙）の内容で判断する。</p> <p>評価基準：</p> <p>以下の点について、どの程度適切に回答できているのかどうかを評価する。</p> <p>①パーソナリティの定義・分類・測定方法について具体的に述べられている。②パーソナリティの代表的な理論がどのような研究結果から導かれたのか具体的に述べられている。</p>
教科書	講義内で資料を配布する。
参考書	特になし。
備考・その他	私語や飲食など、授業を妨害しうる行為は厳禁。

(この様式はシラバスとセットにしてホームページに掲載します)

東海学院大学「人格心理学」科目の受講を希望する学生にシラバスに記載されていない情報を提供します。

科目名	人格心理学
時間割	毎週水曜日 1 時限目 9 時 20 分開始 10 時 50 分終了
初回の授業日	4 月 11 日 (水)
講義室	講義開始前に教務課 (東キャンパス本館 1 階) にてお尋ねください。
注意事項	自動車・原付・自動二輪で通学する際は届出を行ってください。(自動車の場合は、届出の際に任意保険の写しが必要です。) その他、本学の学内規程に準じてください。
授業についての 問合せ	東海学院大学 教学部教務課 Tel: 058-389-2200
交通アクセス	下記リンクを参照してください。 http://www.tokaigakuin-u.ac.jp/access/